

平成 26 年度事務事業評価調書

事業コード	02050320	区 分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常
事務事業名	発達障がい児療育事業	担当部署名	健康福祉課	
		作成責任者職氏名	課長 菊井 佳宏	内線 340
第4次総合計画 体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)	
	02健康・福祉	05障がい者福祉の推進	03地域生活支援サービスの提供	
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input type="checkbox"/> 継続 (平成24年度 ~ 年度)		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	義務付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
①目的 発達障がい児の生活の基礎を築く ②内容 発達障がい児(主に自閉症)に対する療育訓練と親に対する相談支援	発達障がい児とその親
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
集団生活へ馴染めるようになる等	効果の検証が難しい

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	0	140	0	140	140			
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金		140	0	140	140		
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
一般財源		0	0	0	0			
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)		0.01	0.01	0.01	0.01		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	0	59	59	59	59		
総コスト費(千円)(A+C)	0	199	59	199	199			
人口あたりコスト(円)	0	33	10	33	33			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	利用者	人	1	0	0%	1	1
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 0% / 1 = 0% (A)

(1/2)

Ⅲ 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	第4次総合計画・基本施策「障がい者福祉の推進」における基本的な考え方に概ね該当
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	事業の性格上、効果の検証が困難。H23まで府が同事業を実施していたことから、少なくとも「一応の効果がある」と判断
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	9市町村共同実施
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	原則、利用は1回限り(1年間)で、希望や必要に応じて継続利用が認められる。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	12	/16	75%	(B)
-------------------------	----	-----	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
0%	75%	38%	d
<small>a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)</small>			

Ⅳ 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
B	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	

Ⅴ 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
障がい者福祉の向上のためにも、必要であると考えます。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

(2)第三者による有識者会議結果											
	<table border="1"> <tr> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> </tr> <tr> <td>A: 拡充</td> <td>B: 現状維持</td> <td>C: 見直し</td> <td>D: 縮小</td> <td>E: 休止・廃止</td> </tr> </table>						A: 拡充	B: 現状維持	C: 見直し	D: 縮小	E: 休止・廃止
A: 拡充	B: 現状維持	C: 見直し	D: 縮小	E: 休止・廃止							

(3)行政経営戦略会議結果	
障がい者福祉の向上のためにも、必要であると考えます。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止